

郡山市では、都市緑地法第4条に基づき、緑地の適正な保全、緑化の推進を総合的かつ計画的に実施するために「郡山市緑の基本計画(2021年度～2030年度)」を策定しました。

本計画を推進するにあたり、多くの市民の皆さまから「郡山市の緑」(※)についての意見をお伺いするため、アンケートを実施いたしましたので、その結果についてお知らせします。

※ここで言う「緑」とは、樹木や草花といった植物だけでなく、山林・河川などの自然環境、農地・公園・街路樹などの人工的な緑、さらに、民有地の庭や花壇等の身近にある緑も含まれます。

(公園緑地課)

## 【調査概要】

○調査期間	令和5年11月20日(月)～11月29日(水) 10日間
○回答方法	専用ウェブサイトから回答を返信
○モニター数	397名 (男性172名 女性225名)
○回答者数	345名 (男性154名 女性191名)
○回答率	86.9%

## 【分析】

### 《回答者内訳》

年代	10代～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計
女性	7	32	63	46	36	7	0	191
男性	5	5	33	40	25	32	14	154
合計	12	37	96	86	61	39	14	345

### 《緑の現状について》

- ・緑に対し、94.2%が「関心がある」または「やや関心がある」と回答した。(問1)
- ・10年前と比較した緑の量の変化について、39.7%が「変わらない」と回答し、「やや減った」または「減った」は34.8%、「増えた」または「やや増えた」は10.1%であった。(問3)

### 《公園について》

- ・公園の利用頻度について、27.2%が「ほとんど利用しない」と回答した。(問7)
- ・公園を利用する理由として、「散歩、散策」(48.0%)が最も多く、「子どもを遊ばせるため」27.8%が次いで多い。また公園を利用しない理由として、「利用するきっかけ、時間がない」53.2%が最も多い。(問10、問11)

### 《今後の緑の方針について》

- ・市が実施する取組みに望むこととして、「公園・街路樹等の適切な維持管理」67.5%が最も多く、市民が実践している(または今後実践したい)取組みとして「自宅の緑化」62.3%が最も多い。(問18、問22)

## 【考察】

・10年前と比較した緑の量は、「変化なし」、または、「減少した」との回答が多かったものの、**現状の緑の質について、肯定的な回答(満足、やや満足、適正の合計)の割合が6割を超えており、郡山市の緑はおおむね良好であると考えられる。**一方で、**田畑の大幅な減少や公園・街路樹の管理不足等が指摘されていることから、今後、緑の保全・管理を一層強化する必要がある。**

・公園を「ほとんど利用していない」、「年に数回」の方が約半数と公園の利用頻度はあまり高くない。どのような公園になれば利用したいかについて、**駐車場や民間が運営する施設の整備等があげられており、利用しなくなる公園を目指した施設整備や維持管理が必要である。**

・市と市民が協働して実施すべき取組みについて、約半数の方が「公園、街路樹等の適切な維持管理」をあげており、**行政・民間事業者・地域の橋渡し役となる中間支援組織の設置など、市民と協働できる体制について検討する必要がある。**

・緑に関して実践している(実践したい)取組みについて、約6割の方が「自宅の緑化」と回答しており、**自宅の花壇や菜園などへの身近な活動に対する支援策の検討が必要である。**

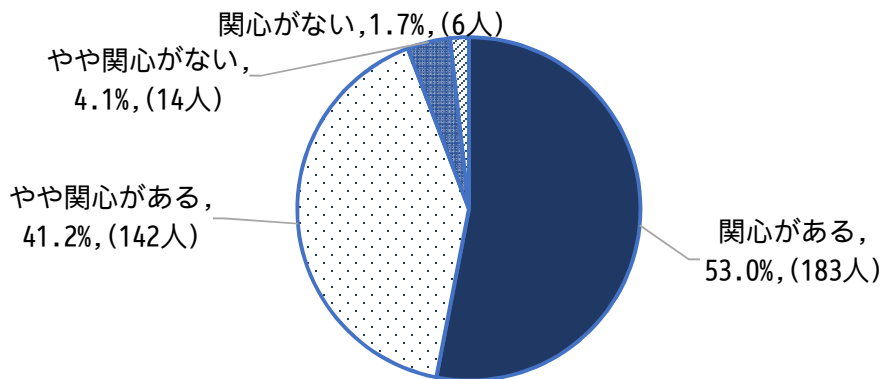
※構成比は、端数を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

※複数回答・自由回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答・自由回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがあります。

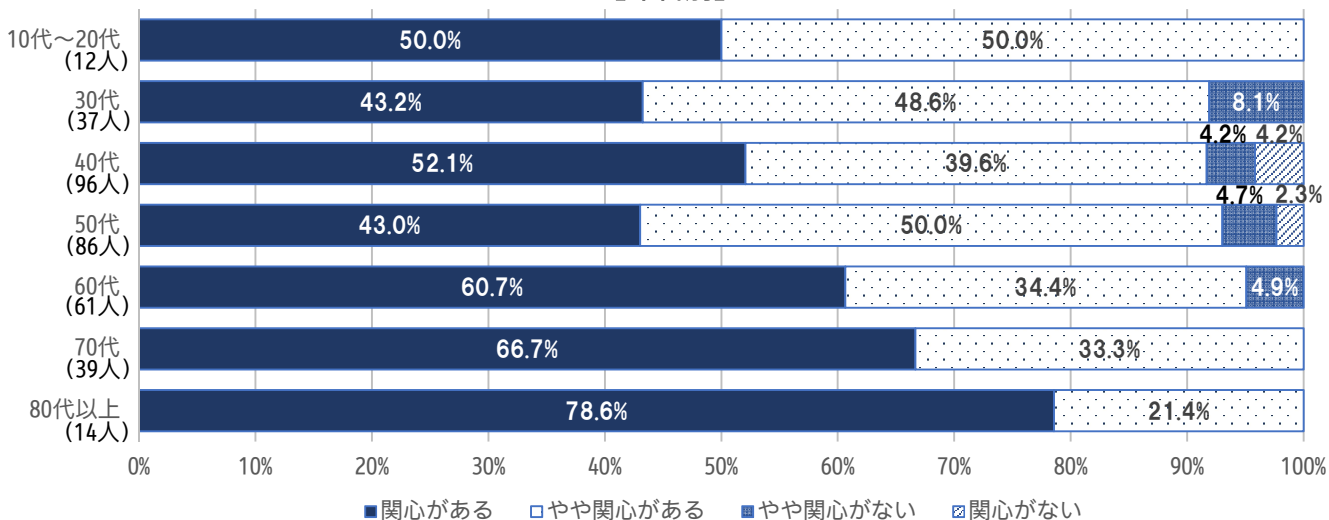
## 第1章 郡山市の緑の現状について

### 問1 緑に関心はありますか？（1つ選択）

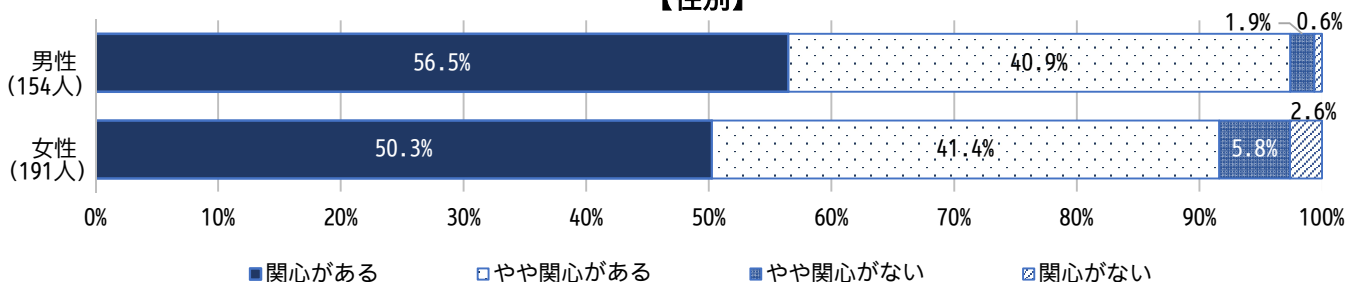
（回答者：345人）

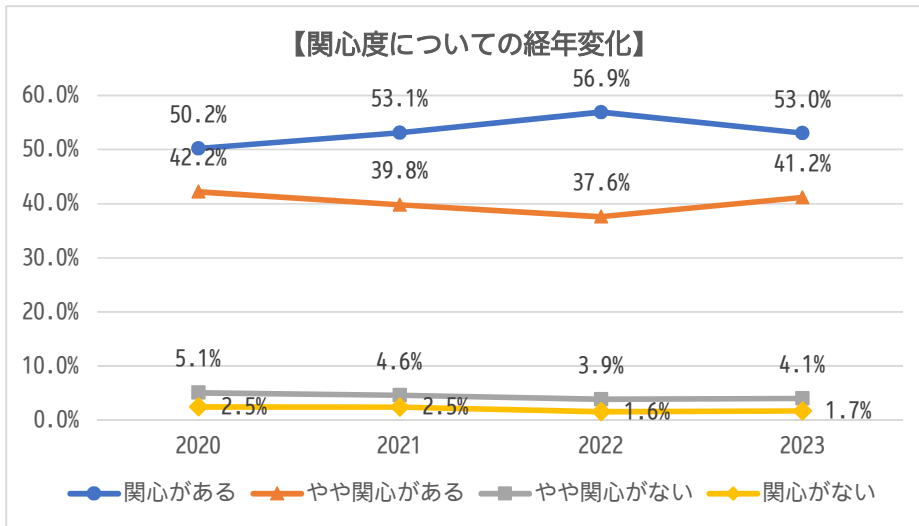


#### 【年代別】



#### 【性別】





緑への関心について、「関心がある」と「やや関心がある」の合計は9割を超えており、関心は非常に高い。

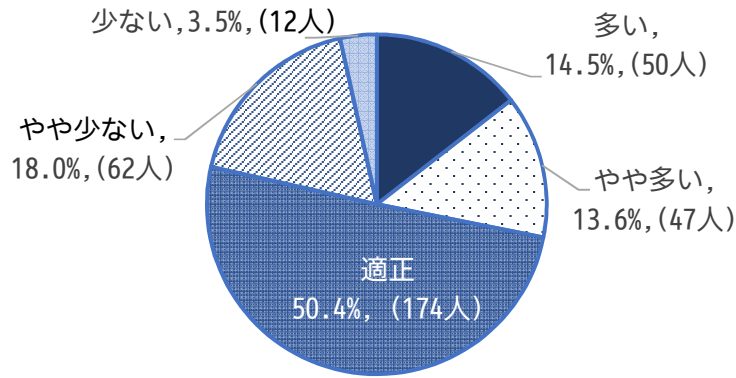
年代別では、全年代で「関心がある」と「やや関心がある」の合計が9割を超えており、幅広い年代で緑への関心が高いことが見受けられる。

男女別では、男性のほうが「関心がある」と回答した割合が6.2ポイント高い。

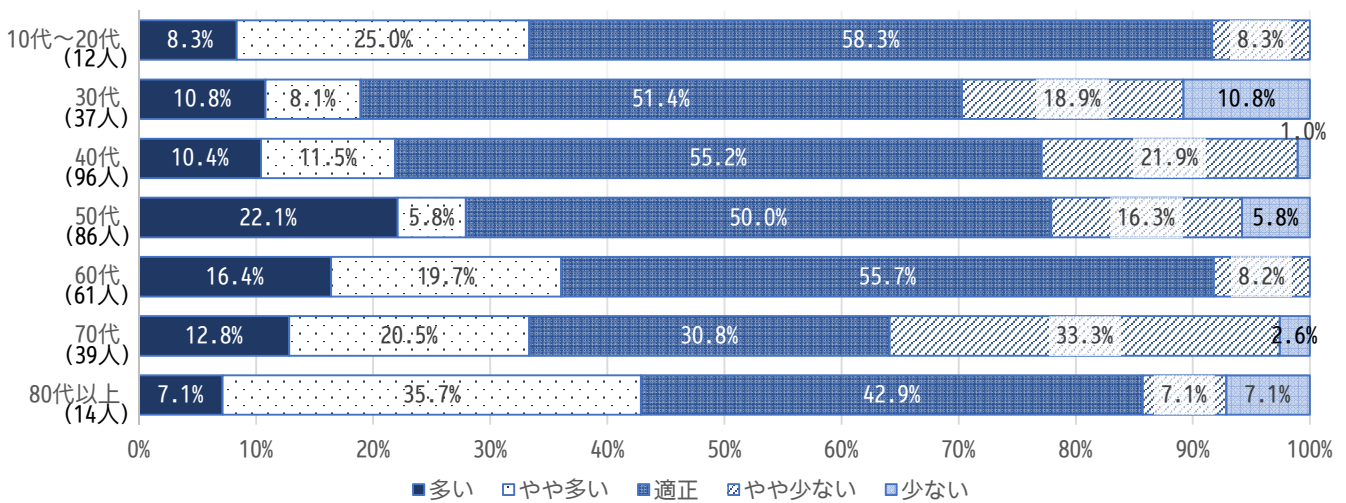
また、経年変化における「関心がある」の割合は、昨年度から3.9ポイント下がった。

問2 お住まい(職場、学校含む)周辺の郡山市の緑の量について、どのように感じますか？  
(1つ選択)

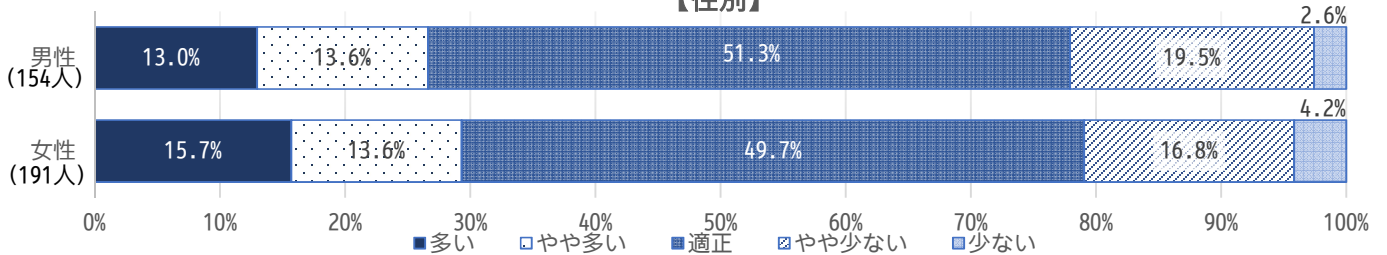
(回答者：345人)



【年代別】



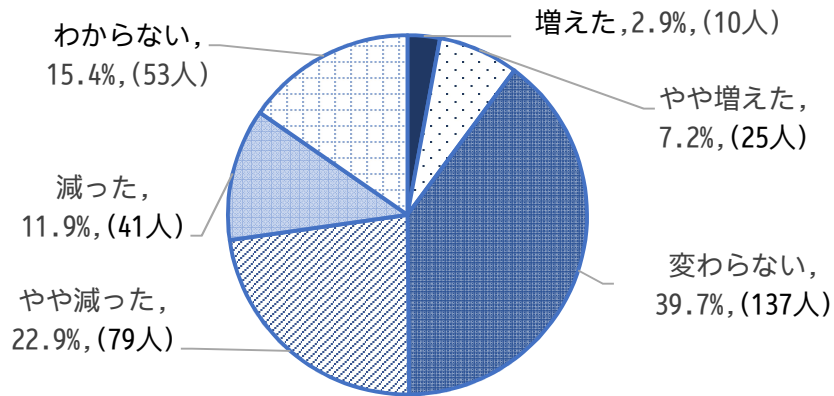
【性別】



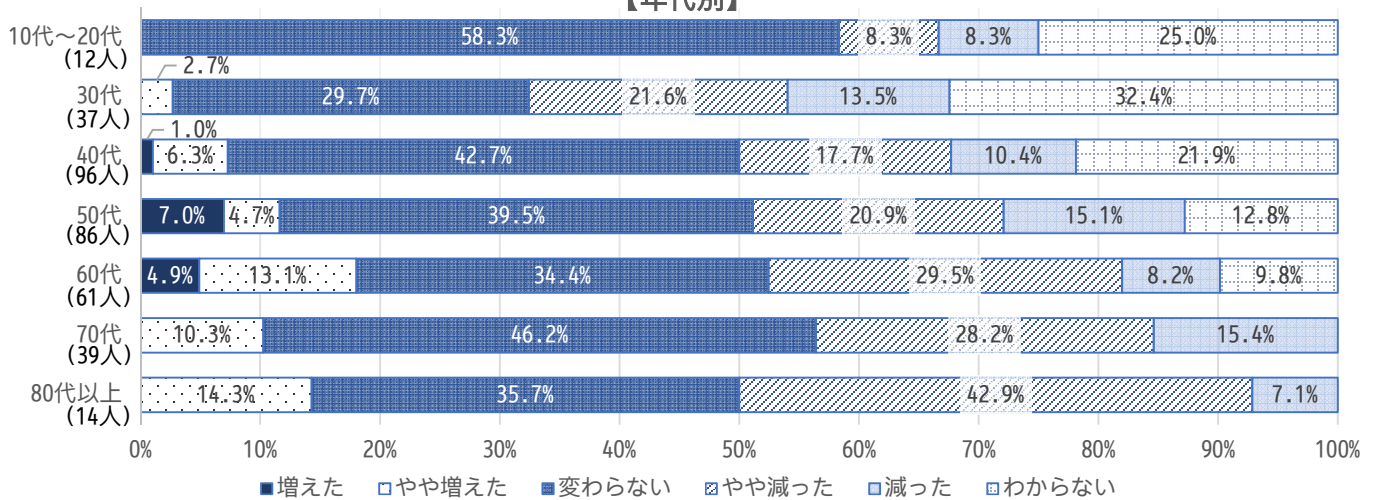
緑の量について、「適正」50.4%が最も多く、次いで「多い」、「やや多い」の合計が28.1%、「少ない」、「やや少ない」の合計が21.5%となっており、緑の量はおおむね満足されていると考えられる。  
年代別では、80代以上、60代、10代～20代・70代の順に「多い」、「やや多い」の合計の割合が高くなっている。  
男女別では、大きな差異は見られない。

問3 10年前と比べて、郡山市の緑の量はどう変わりましたか？（1つ選択）

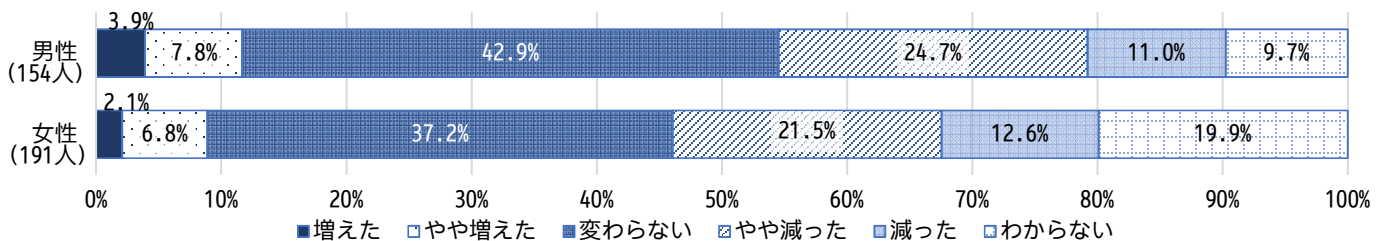
（回答者：345人）



【年代別】



【性別】



10年前の緑の量との比較について、「変わらない」39.7%が最も多く、次いで「減った」、「やや減った」の合計が34.8%、「増えた」、「やや増えた」の合計が10.1%となっており、現状の緑の量は10年前と変わっていないと感じられていることが見受けられる。

年代別では、60代、80代以上、50代の順に「増えた」、「やや増えた」の割合が高い一方、80代以上、70代、60代の順に「減った」、「やや減った」の割合が高い。

男女別では、女性と比べて男性の方が「変わらない」の回答が5.7ポイント多い。また、女性は「わからない」の回答が男性と比べて10.2ポイント多い。

**問4 特に緑が増えた、または減ったと感じる具体的な理由や場所はどこですか？（自由記述）**

（回答者：110人）

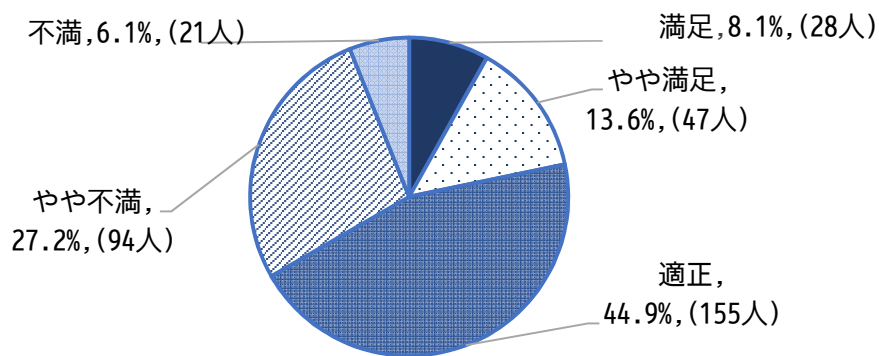
緑が増えた場所としては、「公園」や「まちなか」などの回答があり、緑が増えた理由としては、「新たに公園が整備された」や「樹木の成長」などの回答があった。本来の都市的土地利用が図られた場所においては、緑が増えたと感じられていることが見受けられる。

一方、緑が減った場所としては、「道路」や「山林」などの回答があり、緑が減った理由としては、「伐採により街路樹が減った」や「宅地化により田畑が減った」などの回答があった。自然的土地利用から都市的土地利用に転換された場所について、緑が減ったと感じられていることが見受けられる。

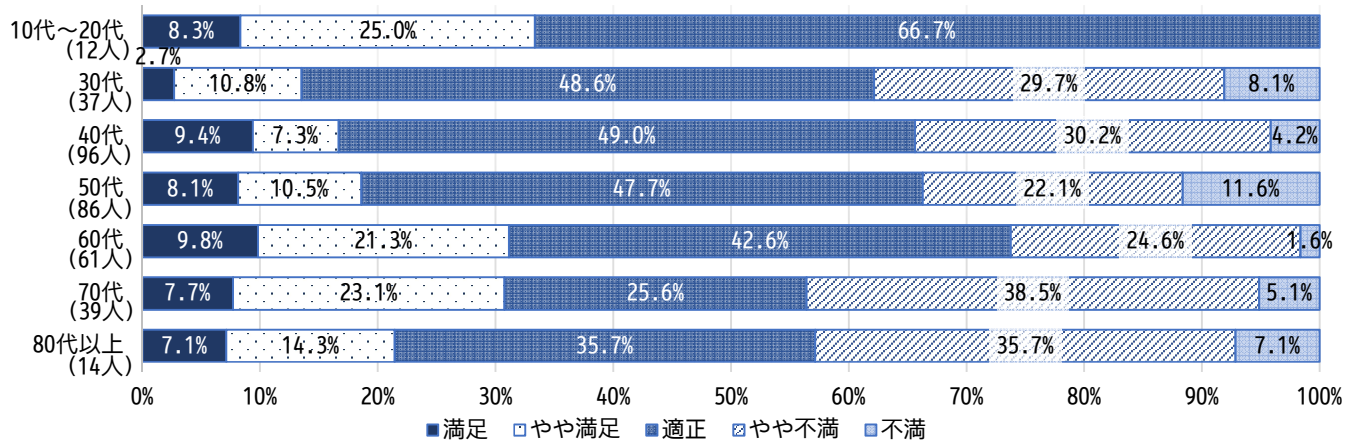
**問5 お住まい（職場、学校含む）周辺の郡山市の緑の質（※）について、満足していますか？（1つ選択）**

※「緑の質」とは、緑の量だけではなく、美しさや多様な役割（環境保全、防災、レクリエーション、景観等）などのことを示します。

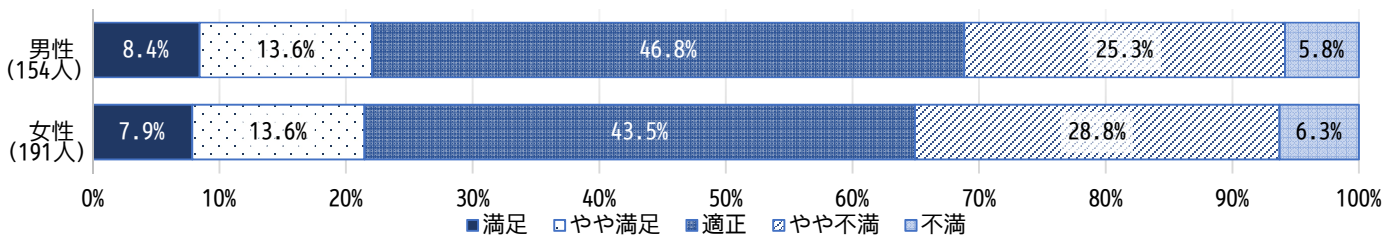
（回答者：345人）



**【年代別】**



**【性別】**



緑の質について、「適正」44.9%が最も多く、次いで「やや不満」、「不満」の合計が33.3%、「満足」、「やや満足」の合計が21.7%となっている。「適正」、「満足」、「やや満足」の合計が7割弱となっており、緑の質について、おおむね満足されていると考えられる。

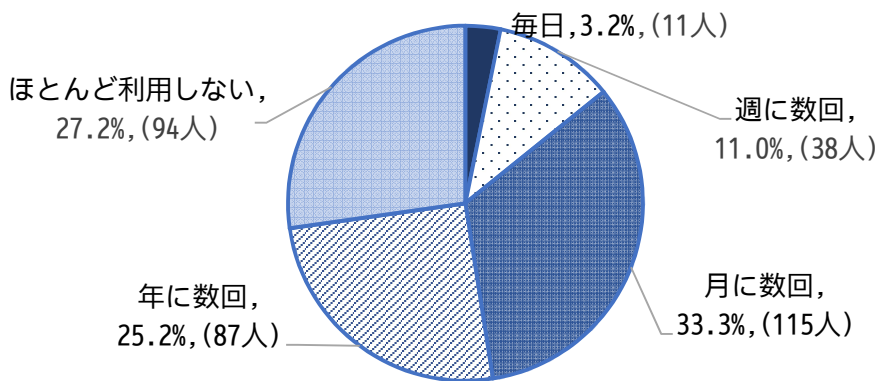
年代別では、10代～20代、60代、70代の順に「満足」、「やや満足」の割合が高い。  
男女別では、大きな差異は見られない。

問6 問5で「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」を選択した方に伺います。特に緑の質に満足、または不満を感じる具体的な理由や場所はどこですか？（自由記述）  
 （回答者：146人）

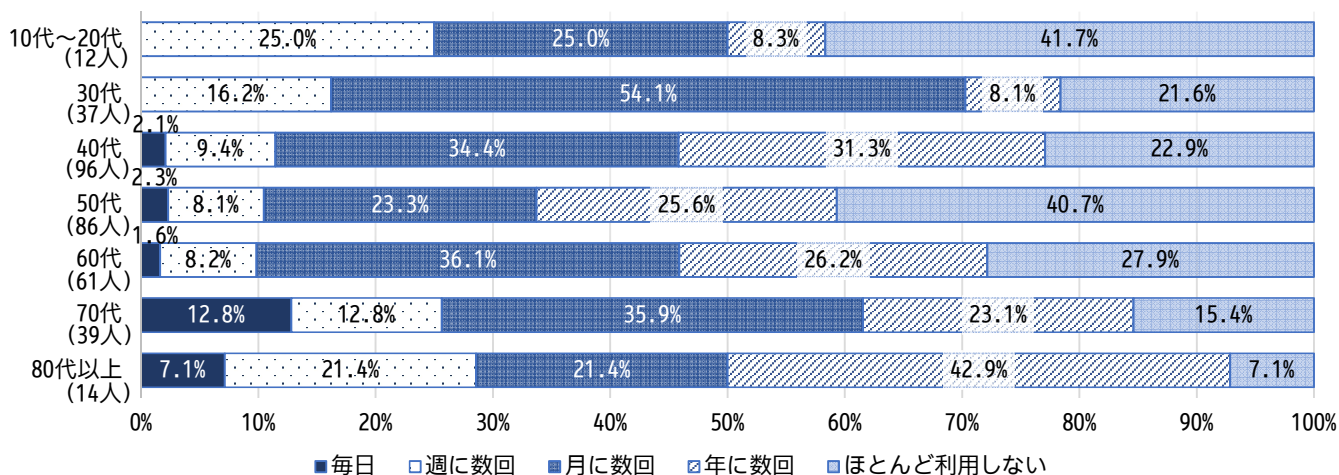
緑の質について満足を感じる場所としては、「近隣の公園・緑地等」や「街路樹」、満足を感じる理由としては、「近隣の緑の量が多い」などの回答であった。  
 緑の質について不満を感じる場所としては、「公園」や「道路」、「河川」があり、不満を感じる理由としては、「公園、河川や空き地、空き家等の管理が行き届いていない」や「景観が悪い」などの回答があり、管理の状態が満足度に影響していることが考えられる。

## 第2章 郡山市の公園について

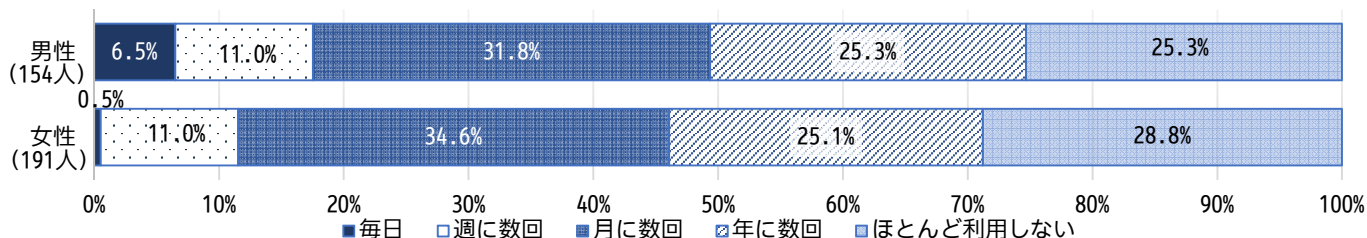
問7 どの程度公園を利用しますか？（1つ選択）  
 （回答者：345人）



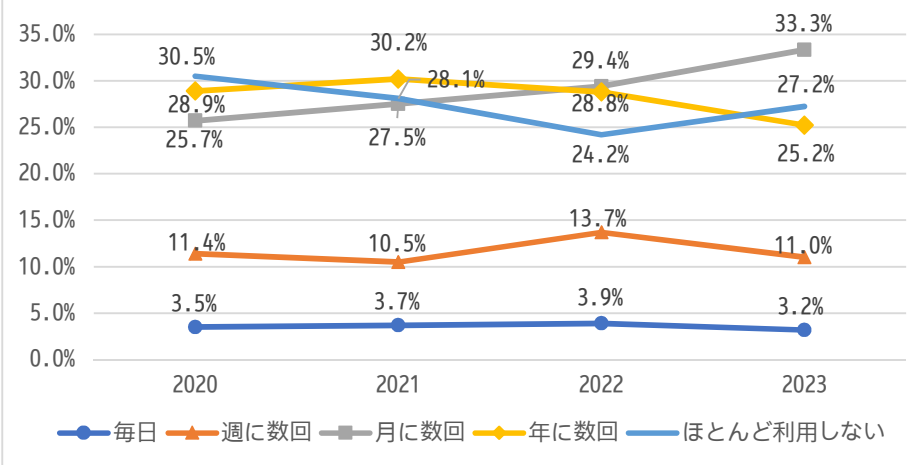
【年代別】



【性別】



【利用頻度についての経年変化】



公園の利用頻度について、「月に数回」33.3%が最も多く、次いで「ほとんど利用しない」27.2%、「年に数回」25.2%、「週に数回」11.0%、「毎日」3.2%となっており、公園の利用頻度はあまり高くない。

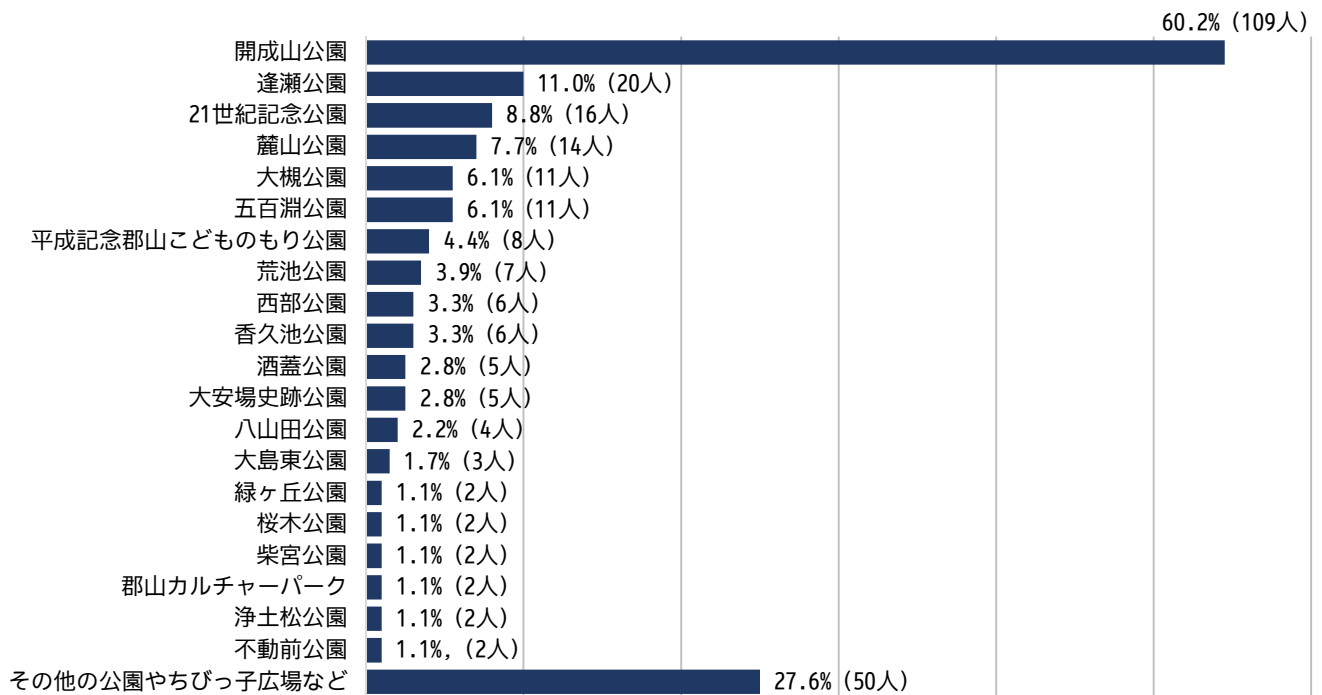
年代別では、80代以上、70代、10代～20代の順に「週に数回」、「毎日」の割合が高く、10代～20代、50代、40代の順に「ほとんど利用しない」の割合が高い。

男女別では、女性と比べて男性の方が「毎日」の回答が6ポイント高い。

また、経年変化においては、「月に数回」の回答割合が上昇傾向となっている。

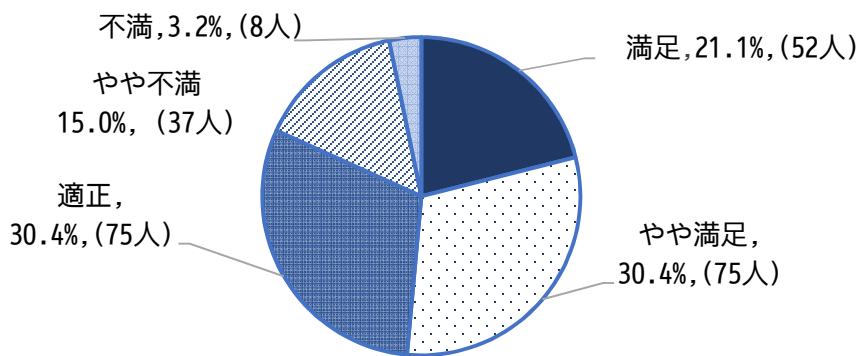


問8 問7で「毎日」「週に数回」「月に数回」「年に数回」を選択した方に伺います。利用する公園を書きください。  
(回答者：181人)

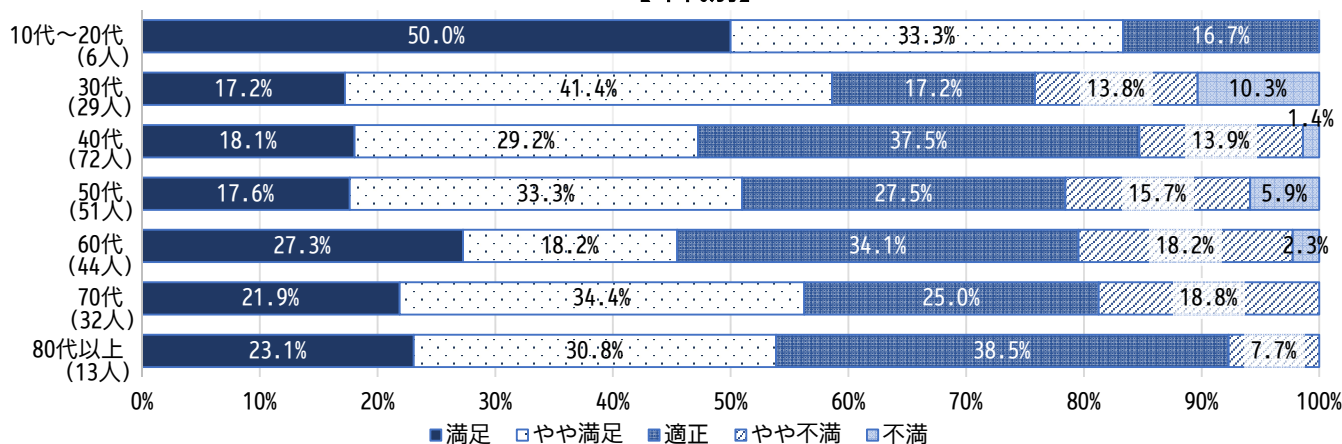


よく利用する公園の回答として、「開成山公園」60.2%が最も多く、次いで「逢瀬公園」11.0%、「21世紀記念公園」8.8%、「麓山公園」が7.7%、「大槻公園」と「五百淵公園」が6.1%となっており、開成山公園が他の公園よりも多くの人に利用されている。

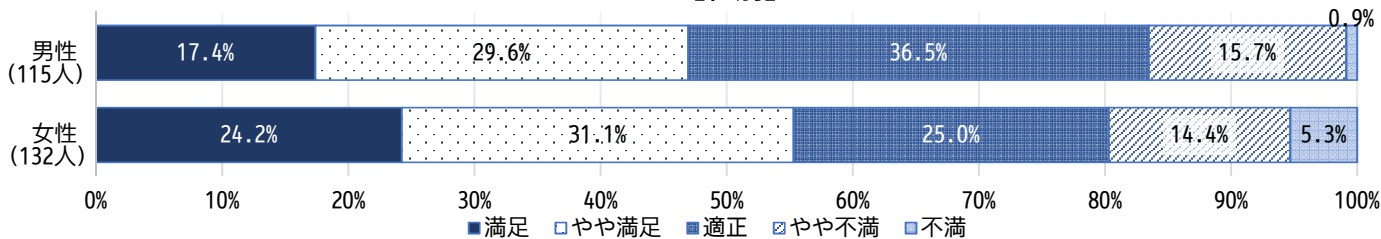
問9 問7で「毎日」「週に数回」「月に数回」「年に数回」を選択した方に伺います。利用する公園について、満足していますか？（1つ選択）  
 （回答者：247人）



【年代別】



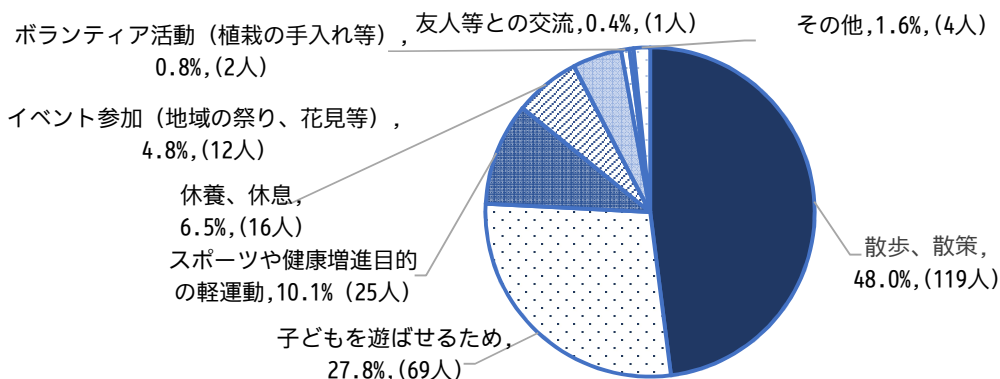
【性別】



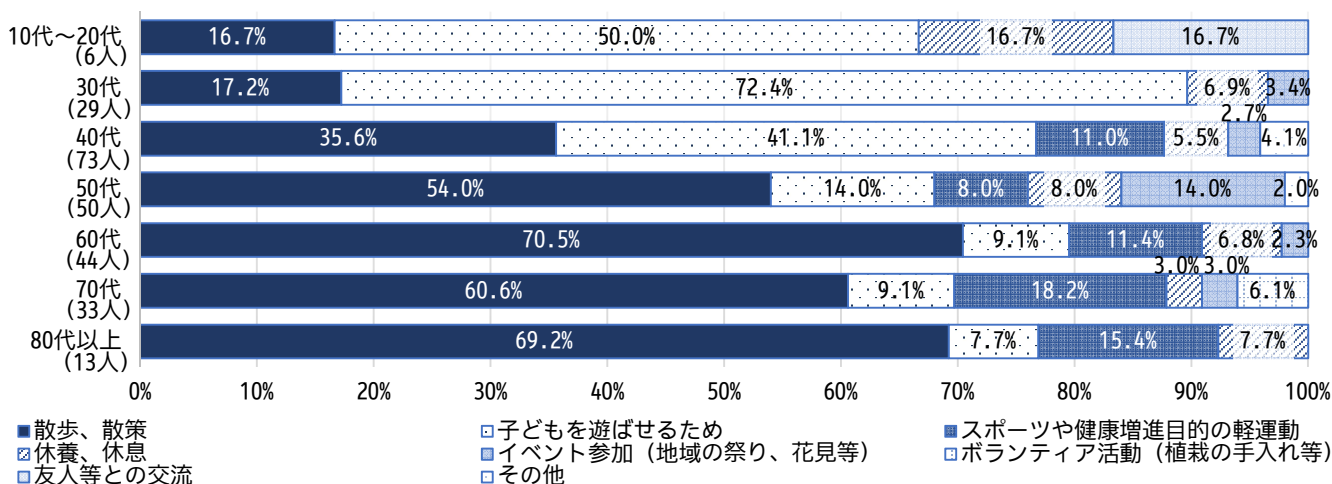
利用する公園の満足度について、「満足」、「やや満足」の合計が51.5%と最も多く、次いで「適正」30.4%、「やや不満」、「不満」の合計が18.2%となっており、「適正」、「満足」、「やや満足」の合計が約8割となっている。  
 年代別では、10代～20代、30代、70代の順に「満足」、「やや満足」の割合が高い。  
 男女別では、女性と比べ男性の方が「適正」と回答した割合が11.5ポイント高い。

問10 問7で「毎日」「週に数回」「月に数回」「年に数回」を選択した方に伺います。利用する理由は何ですか？（1つ選択）

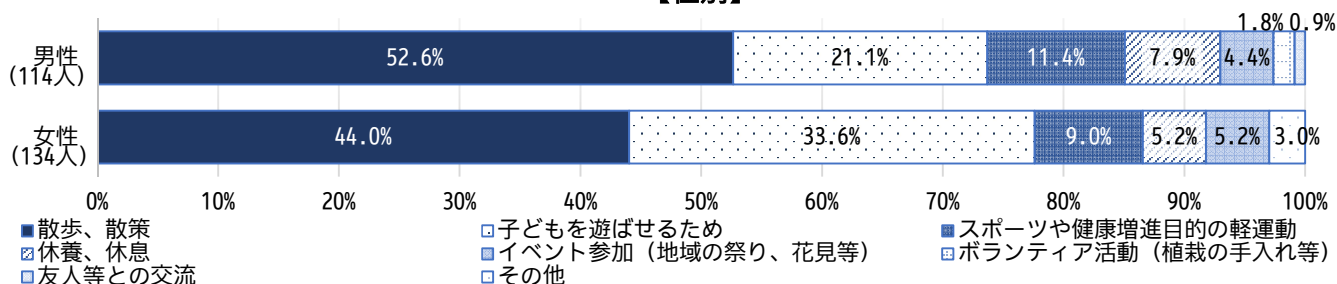
（回答者：248人）



【年代別】



【性別】

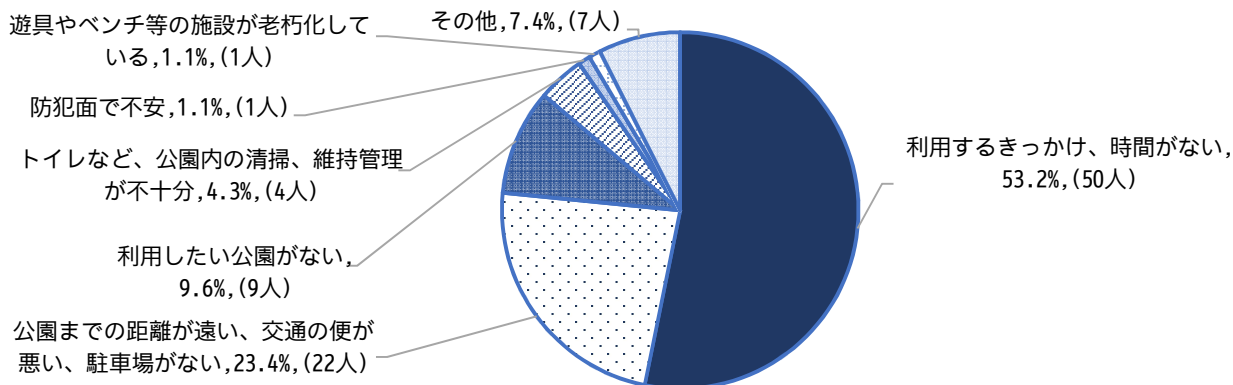


公園を利用する理由について、「散歩、散策」48.0%が最も多く、次いで「子どもを遊ばせるため」27.8%、「スポーツや健康増進目的の軽運動」10.1%、「休養、休息」6.5%、「イベント参加」4.8%となっている。

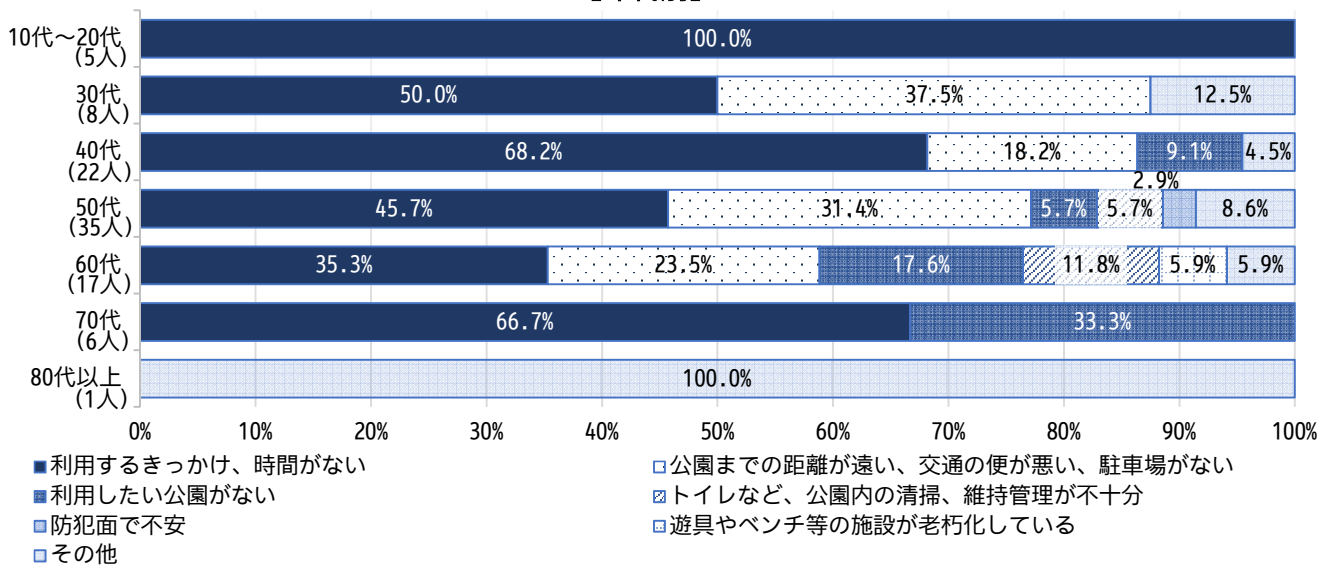
年代別では、10代~20代、30代と40代は「子どもを遊ばせるため」の割合が高く、60代以上では「散歩、散策」の割合が高くなっており、年代により主な利用目的が異なることが分かる。

男女別では、男性と比べ女性の方が「子どもを遊ばせるため」の割合が12.5ポイント高く、また、女性と比べ男性の方が「散歩、散策」の割合が8.6ポイント高い。

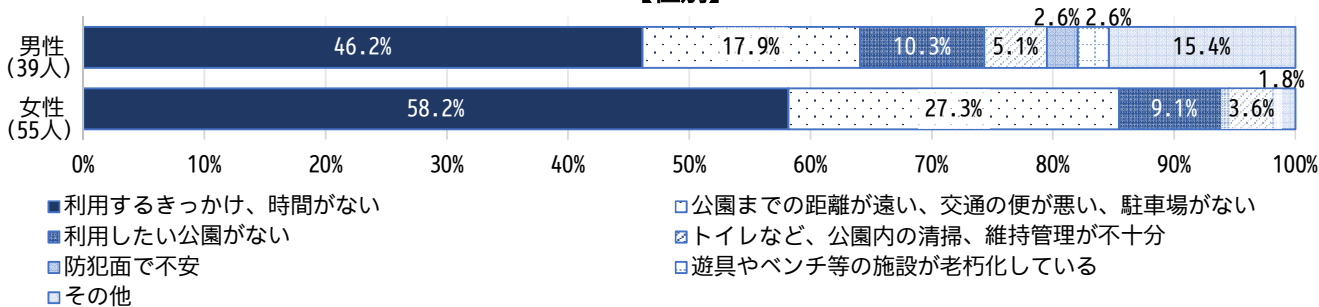
**問11 問7で「ほとんど利用しない」を選択した方に伺います。利用しない理由は何ですか？（1つ選択）**  
 （回答者：94人）



**【年代別】**



**【性別】**

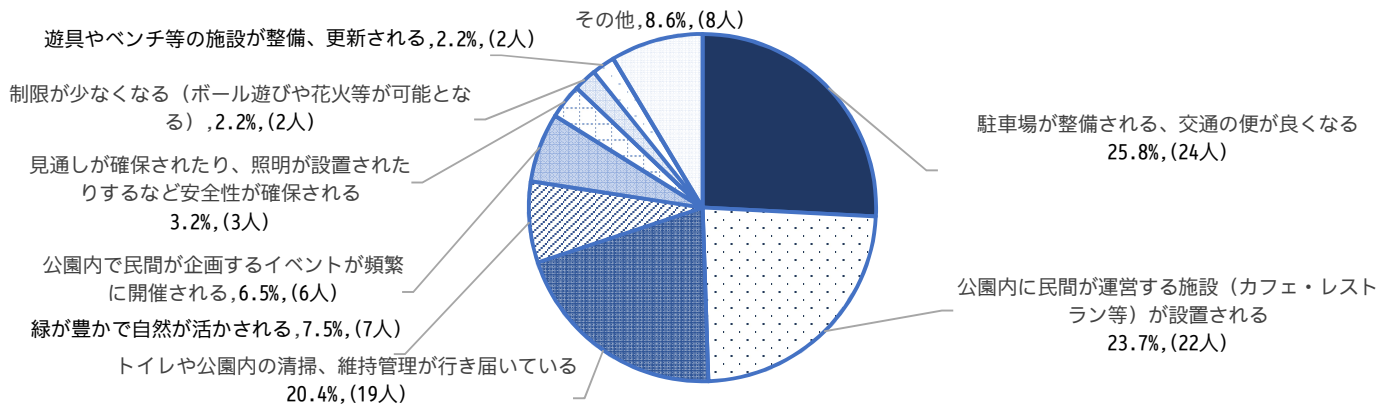


**※「その他」を選択した方の主な意見**

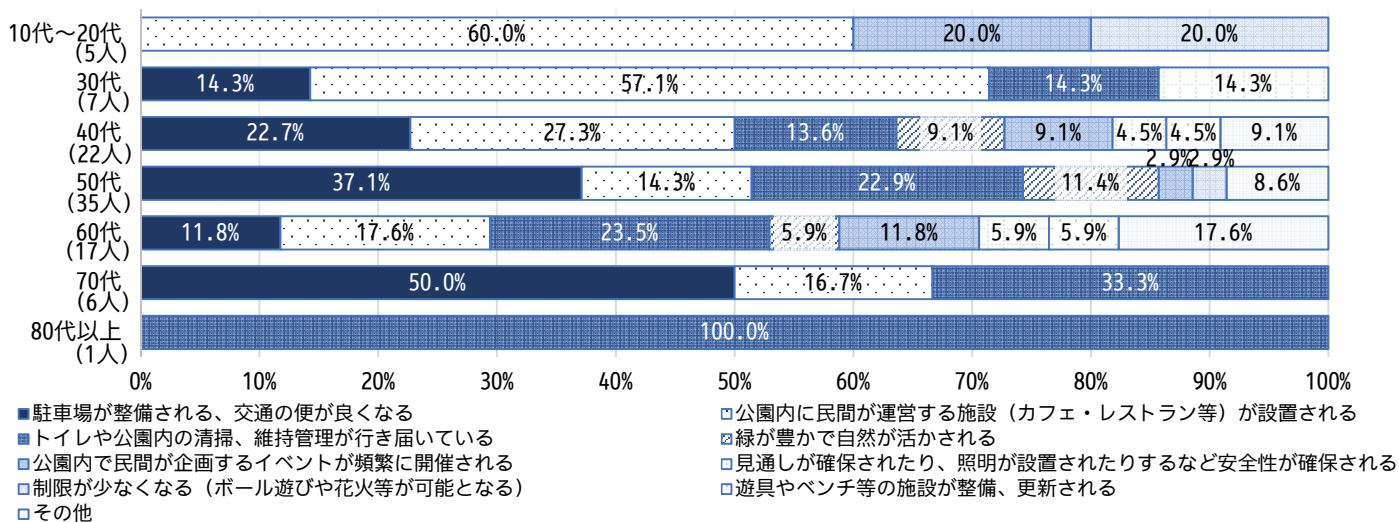
- ・車椅子での利用が難しいため。
- ・遊具が全くないため。

公園を利用しない理由について、「利用するきっかけ、時間がない」53.2%が最も多く、次いで「公園までの距離が遠い、交通の便が悪い」23.4%、「利用したい公園がない」9.6%となっている。  
 年代別では、どの年代でも「利用するきっかけ、時間がない」の割合が高い。  
 男女別では、男性と比べ女性の方が「利用するきっかけ、時間がない」と回答した割合が12ポイント高い。

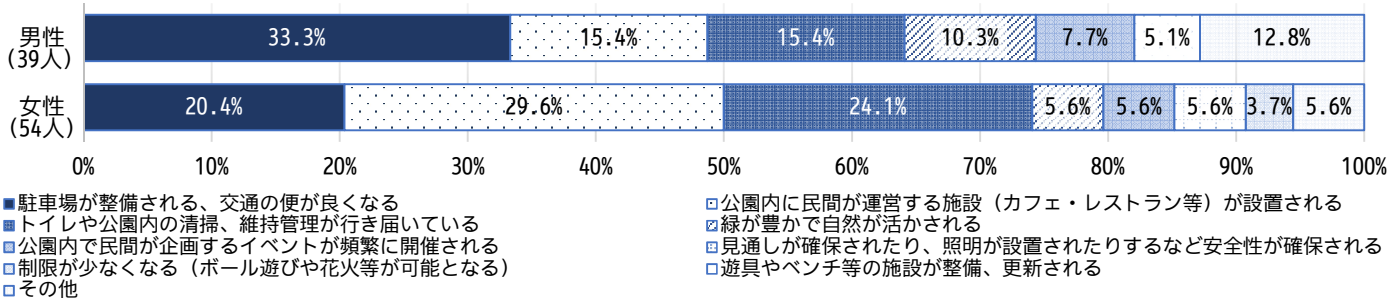
**問12 問7で「ほとんど利用しない」を選択した方に伺います。どのような公園になれば利用したいと思いますか？（1つ選択）**  
 （回答者：93人）



**【年代別】**



**【性別】**



**※「その他」を選択した方の主な意見**

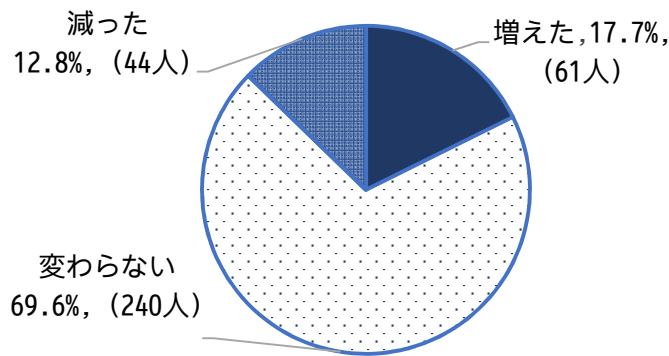
- ・ 徒歩で行ける範囲に公園があれば利用したいです。
- ・ 車椅子でも利用できるようにしてほしい。

どのような公園になれば利用したいかについて、「駐車場が整備される、交通の便が良くなる」25.8%が最も多く、次いで「公園内に民間が運営する施設（カフェ・レストラン等）が設置される」23.7%、「トイレや公園内の清掃、維持管理が行き届いている」20.4%となっており、駐車場やカフェ・レストラン等の整備に加え、適切な維持管理により、利用者が増加すると考えられる。

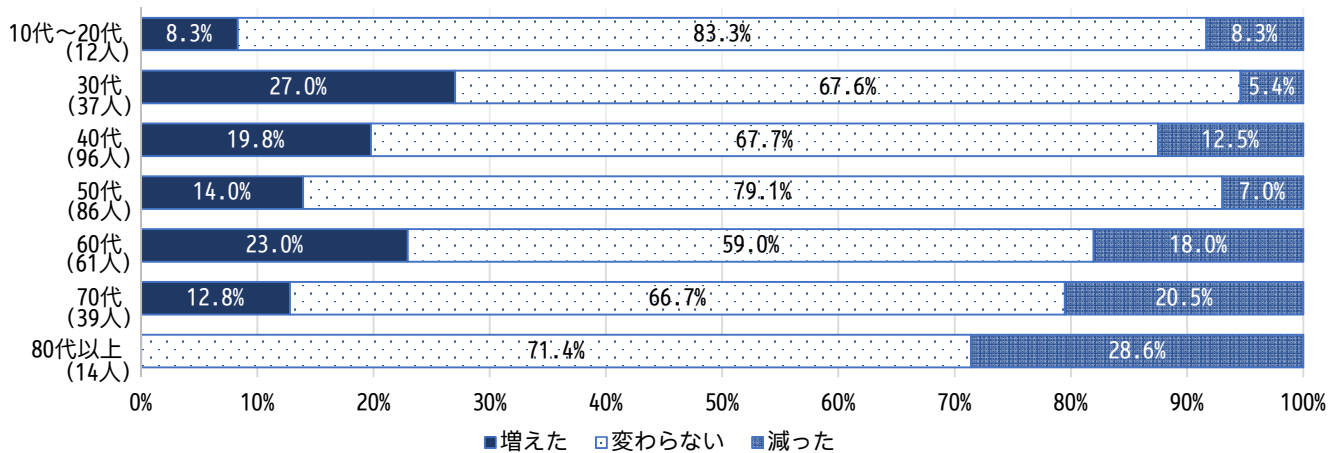
年齢別では、30代から50代、70代は「駐車場が整備される、交通の便が良くなる」の割合が高い。

男女別では、男性の方が「駐車場が整備される、交通の便が良くなる」の割合が12.9ポイント高く、また、女性の方が「公園内に民間が運営する施設（カフェ・レストラン等）が設置される」の割合が14.2ポイント高い。

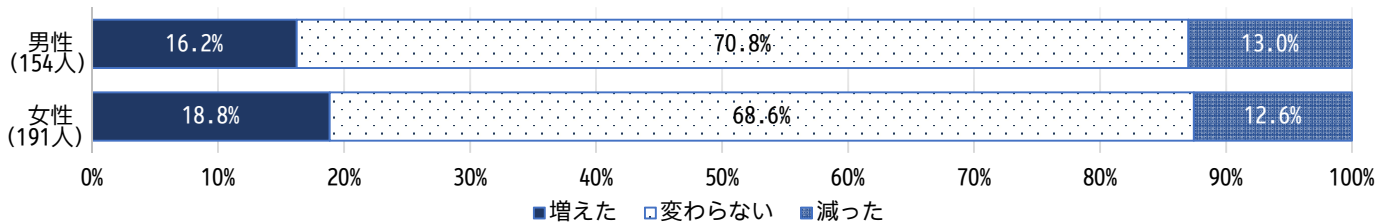
問13 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行前と移行後を比較して、公園の利用頻度はどうなりましたか？（1つ選択）  
 （回答者：345人）



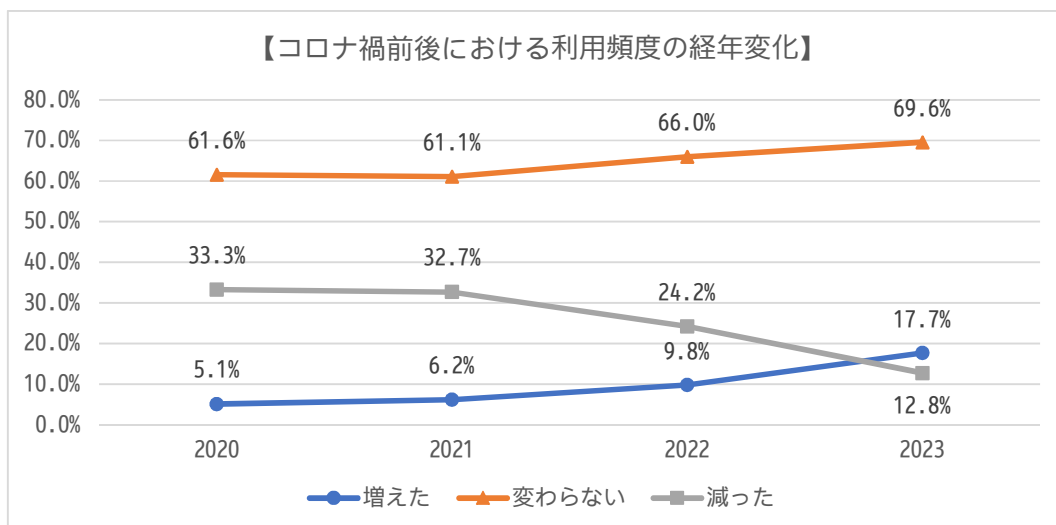
【年代別】



【性別】



【コロナ禍前後における利用頻度の経年変化】



新型コロナウイルス感染拡大に伴う公園の利用頻度の変化について、「変わらない」69.6%が最も多く、次いで「増えた」17.7%、「減った」12.8%となっている。

年代別では、80代以上、70代、60代の順に「減った」の割合が高い。

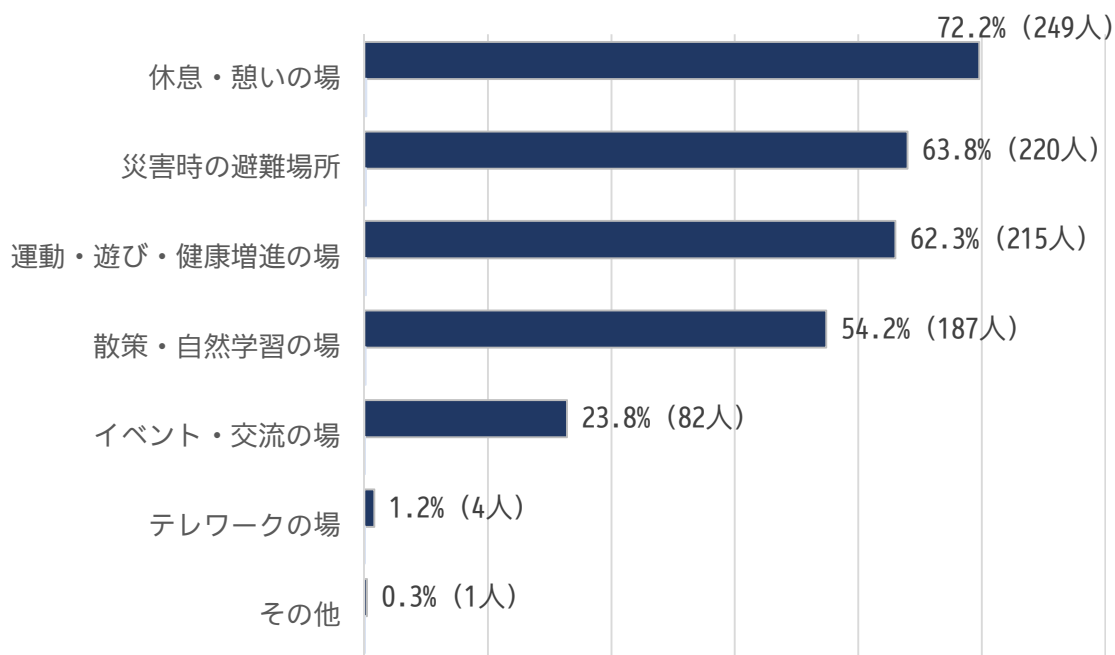
男女別では、大きな差異は見られない。

また、経年変化においては、2022年度から「減った」の比率が減少しているが、これは2022年春にまん延防止等重点措置が解除となったことが影響していると思われる。



問14 公園の役割、機能として何が重要と考えますか？（3つまで選択可）

（回答者：345人）

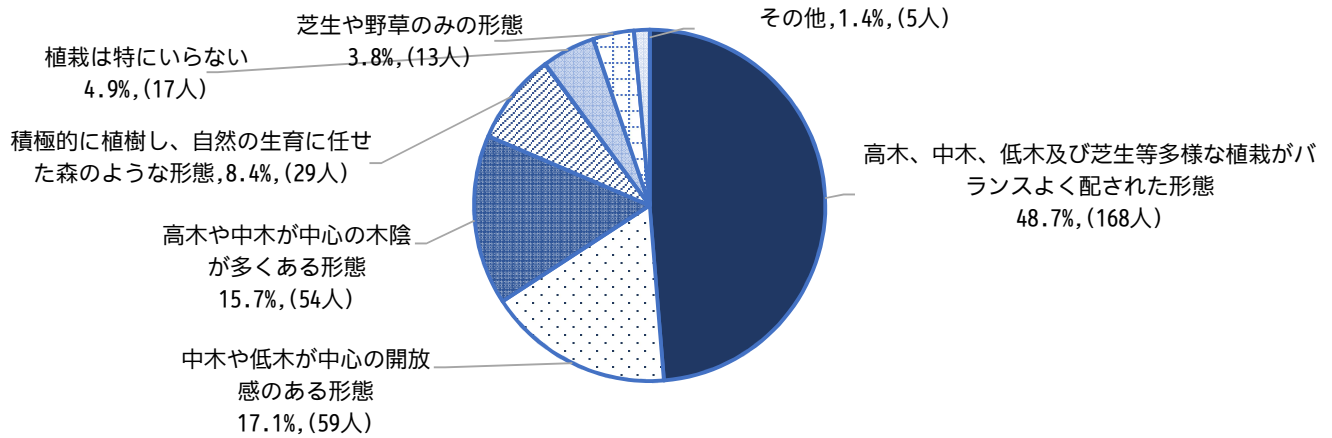


重要な公園の役割、機能として、「休憩・憩いの場」72.2%が最も多く、次いで「災害時の避難場所」63.8%、「運動・遊び・健康増進の場」62.3%、「散策・自然学習の場」54.2%、「イベント・交流の場」23.8%となっている。

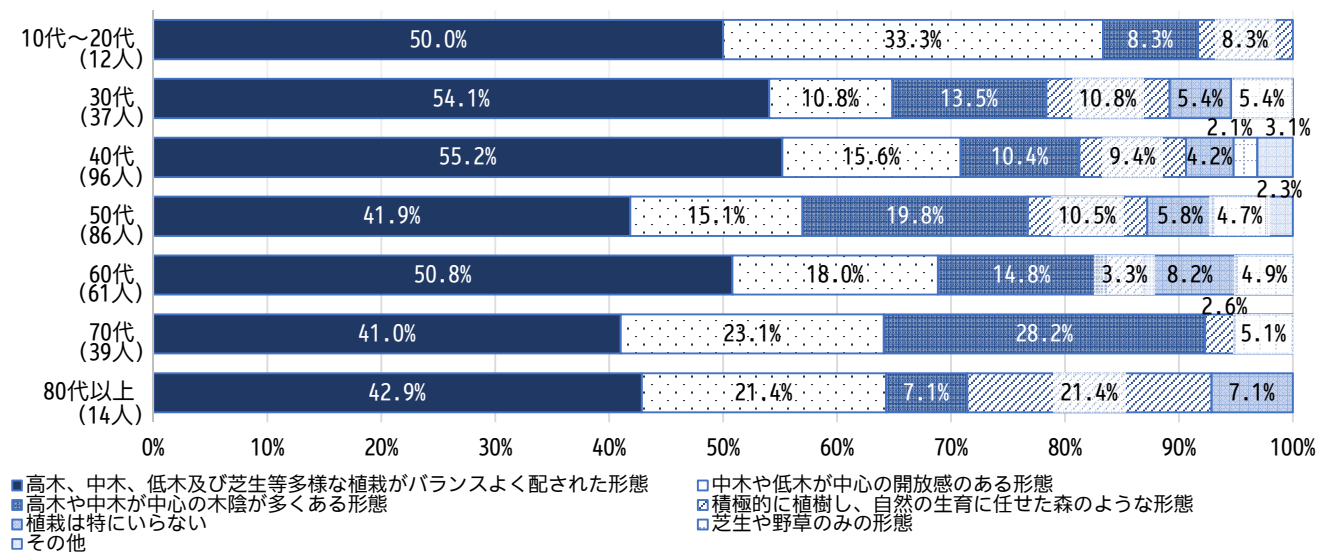
「休憩・憩いの場」、「災害時の避難場所」、「運動・遊び・健康増進の場」、「散策・自然学習の場」は半数以上が回答していることから、特に重要視すべき役割・機能であると考えられる。

問15 公園の緑化について、どのような形態を望みますか？（1つ選択）

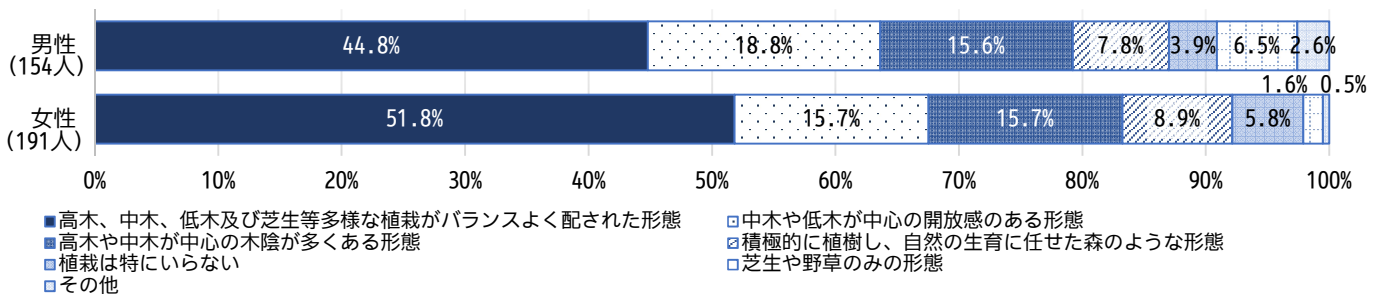
（回答者：345人）



【年代別】



【性別】



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・ 木陰はあったほうがよい。
- ・ 植えるなら花粉症が出ないような植物にしてほしい。

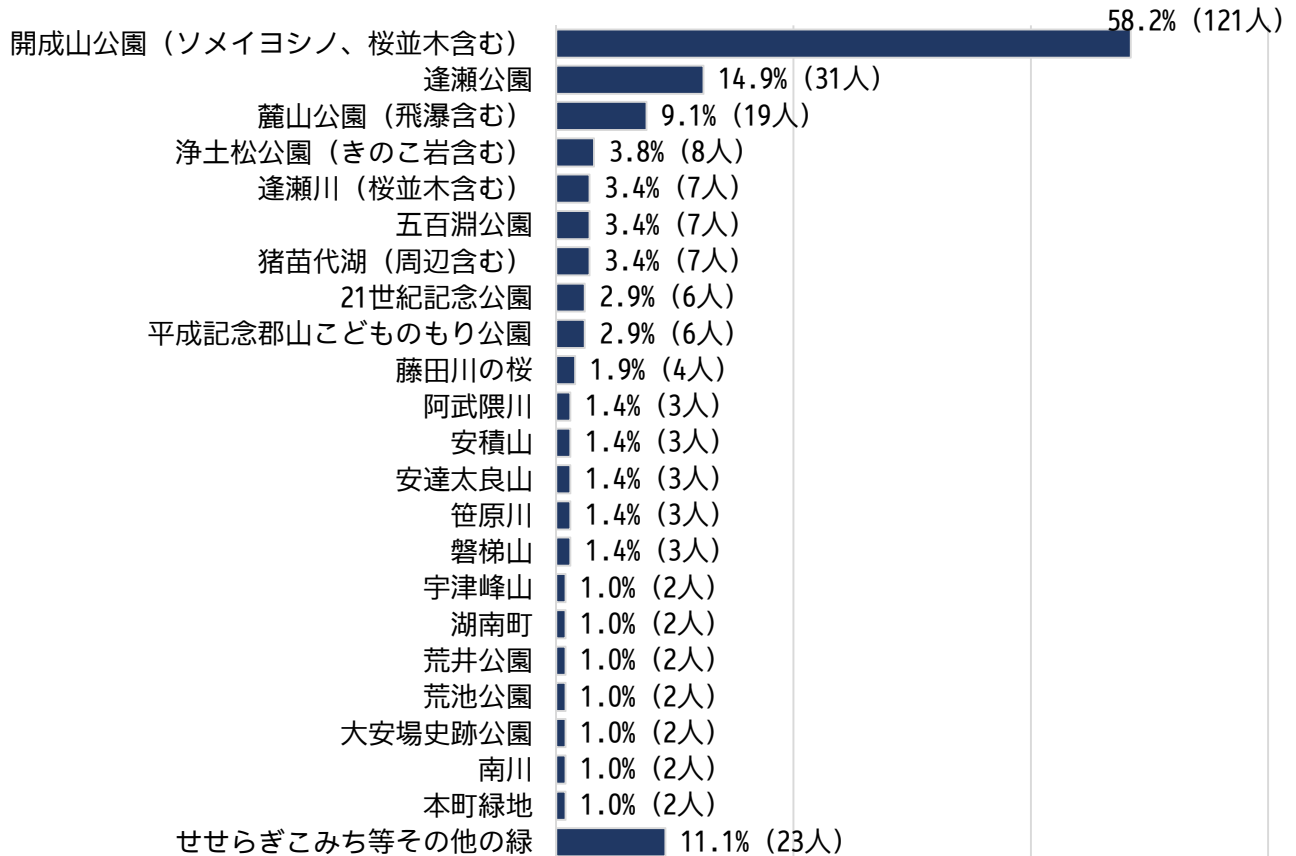
公園の緑化について、「高木、中木、低木及び芝生等多様な植栽がバランスよく配された形態」48.7%が最も多く、次いで「中木や低木が中心の開放感のある形態」17.1%、「高木や中木が中心の木陰が多くある形態」15.7%となっている。

年代別では、全年代で「高木、中木、低木及び芝生等多様な植栽がバランスよく配された形態」の割合が高い。

男女別では、女性の方が「高木、中木、低木及び芝生等多様な植栽がバランスよく配された形態」の割合が7ポイント高い。

問16 後世に残したい、誇りに思う緑はどこですか？（自由記述）  
 （例：〇〇公園、〇〇川、〇〇山など）

（回答者：208人）

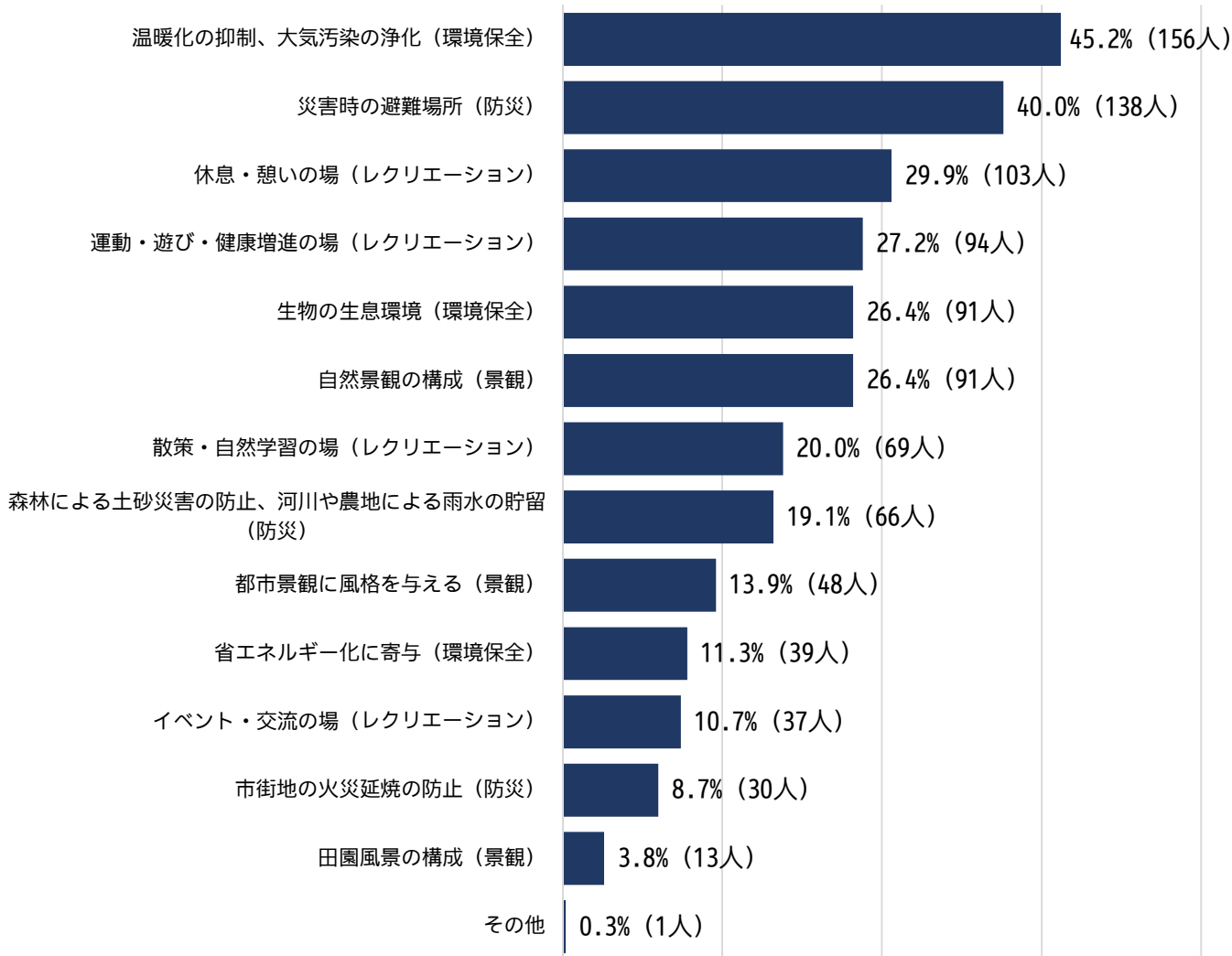


後世に残したい、誇りに思う緑として、「開成山公園」58.2%が最も多く、次いで「逢瀬公園」14.9%、「麓山公園」9.1%、「浄土松公園」が3.8%となっている。「開成山公園」は、よく行く公園としても最も多く回答されており、市民にとって身近で後世に残したい場所として認識されている。

### 第3章 今後の緑の方針について

問17 郡山市の緑（グリーンインフラ含む）について、どのような機能が必要と考えますか？（3つまで選択可）

※「グリーンインフラ」とは、自然環境が有する多様な機能（生物の生息の場の提供、気温上昇の抑制、ゲリラ豪雨への対応等）を活用した、持続可能な地域づくりのことをいいます。（回答者：345人）



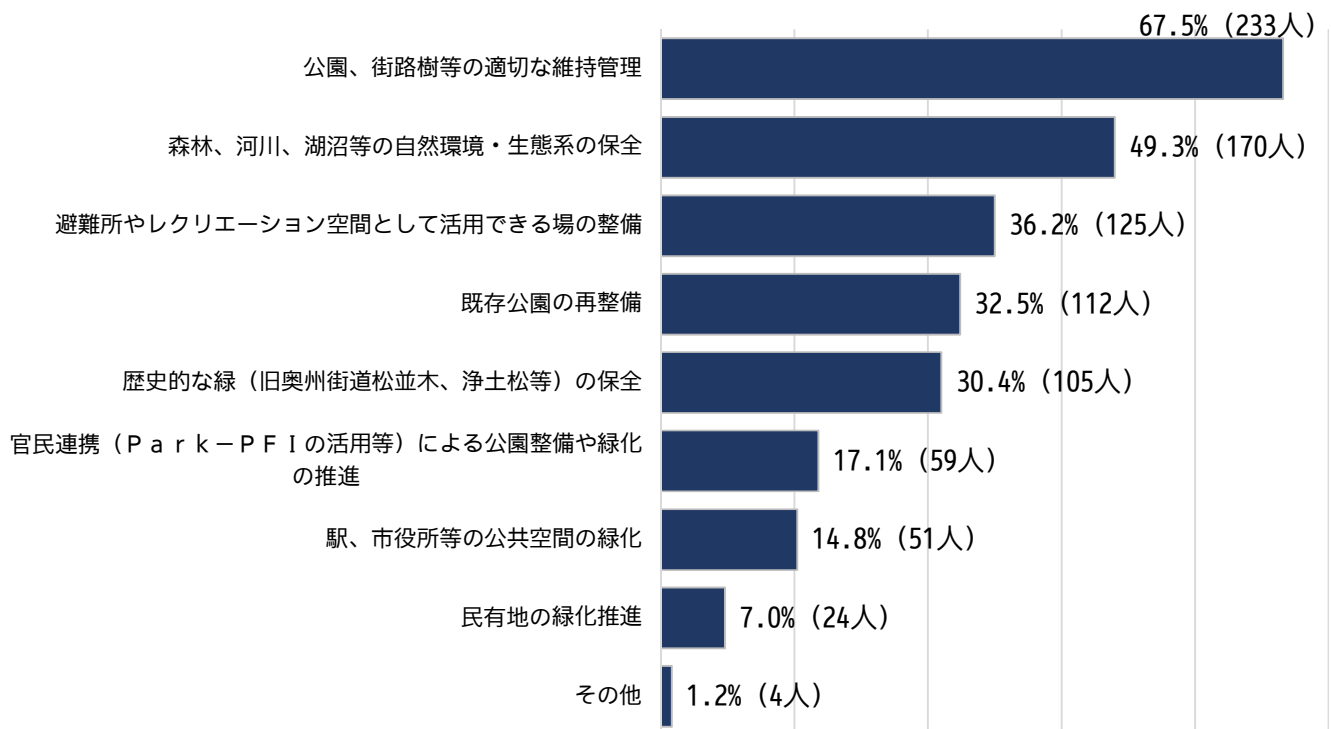
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・子どもが遊べる場所

緑の機能として、「温暖化の抑制、大気汚染の浄化（環境保全）」45.2%が最も多く、次いで「災害時の避難場所（防災）」40.0%、「休息・憩いの場（レクリエーション）」29.9%、「運動・遊び・健康増進の場（レクリエーション）」27.2%、「生物の生息環境（環境保全）」26.4%、「自然景観の構成（景観）」26.4%、となっており、地球温暖化や近年多発する大規模自然災害への防災意識の高さがうかがえる。

問18 あなたは、市が主体となって実施する取組みとして、郡山市にどのような緑に関する取組みを望みますか？（3つまで選択可）

（回答者：345人）

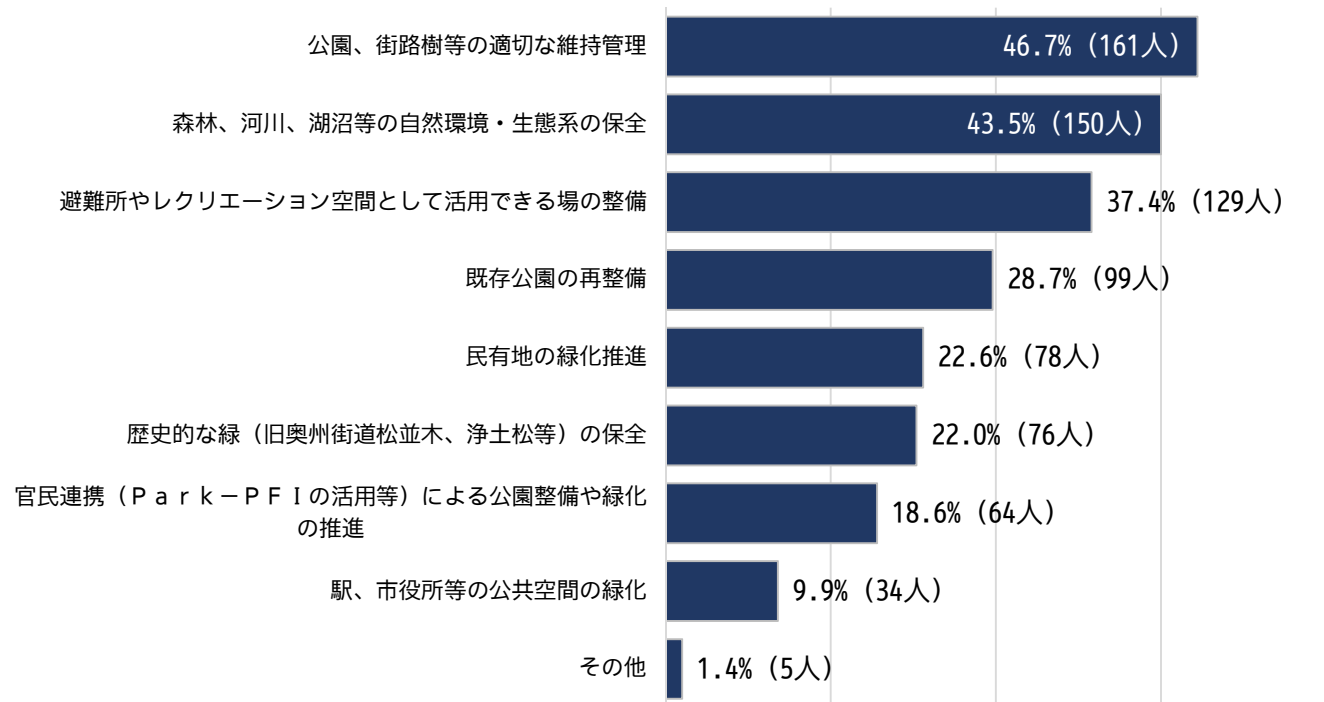


※「その他」を選択した方の主な意見

- ・特に街中の景観を重視した取り組み
- ・荒廃地の緑化活用

市が主体となって実施する取組みについて、「公園、街路樹等の適切な維持管理」67.5%が最も多く、次いで「森林、河川、湖沼等の自然環境・生態系の保全」49.3%、「避難所やレクリエーション空間として活用できる場の整備」36.2%、「既存公園の再整備」32.5%、「歴史的な緑（旧奥州街道松並木、浄土松等）の保全」30.4%となっており、既存施設の適切な維持管理や再整備が望まれていることがうかがえる。

問19 あなたは、市が主体となって実施している緑に関する取組みのうち、市だけでなく市民の皆さまと一緒に取り組んだらよいと思う取組みはどれですか？（3つまで選択可）  
 （回答者：345人）



※「その他」を選択した方の主な意見

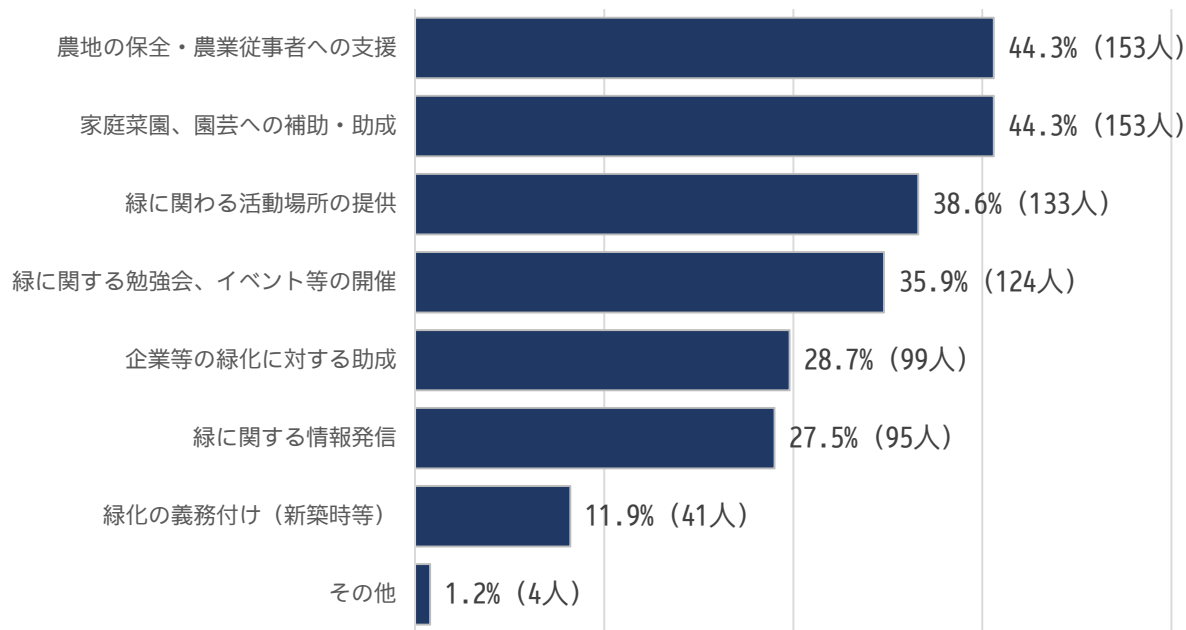
- ・ 荒廃地の緑化活用

市民と市が協働して実施すべき取組みについて、「公園、街路樹等の適切な維持管理」46.7%が最も多く、次いで「森林、河川、湖沼等の自然環境・生態系の保全」43.5%、「避難所やレクリエーション空間として活用できる場の整備」37.4%、「既存公園の再整備」28.7%、「民有地の緑化推進」22.6%となっている。

問18で上位となった既存施設の適切な維持管理や自然環境・生態系の保全については、市民協働で取り組むべきとの意見が多い。

問20 あなたは、市民等による緑に関する取組みに対して、市が行う支援としてどの取組みがよいと思いますか？（3つまで選択可）

（回答者：345人）



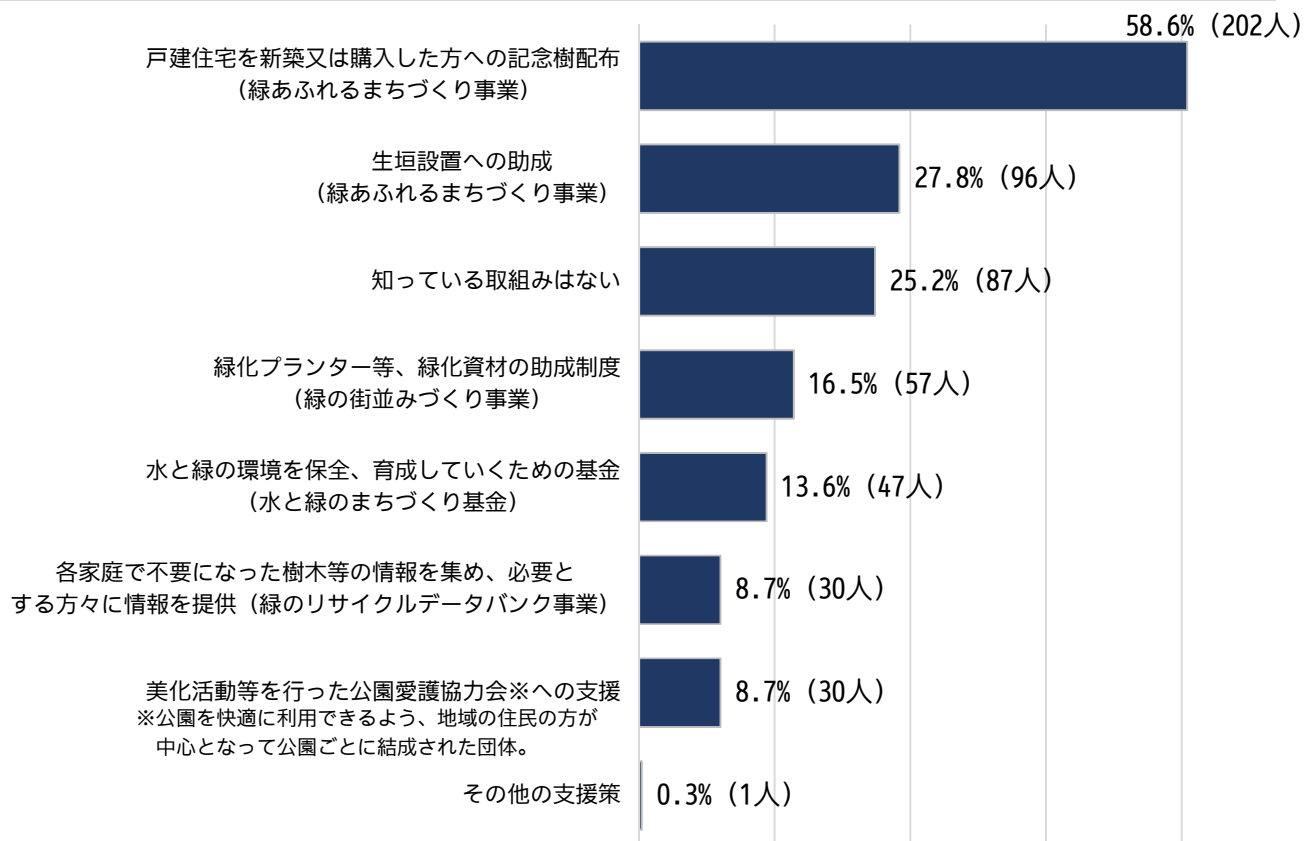
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・ 除草や剪定による廃棄物を、緑化腐葉土作りの原料として回収する。
- ・ 放置された土地の活用のためのマッチング

市民などへの支援策等について、「家庭菜園、園芸への補助・助成」、「農地の保全・農業従事者への支援」44.3%が最も多く、次いで「緑に関わる活動場所の提供」38.6%、「緑に関する勉強会、イベント等の開催」35.9%となっている。

問21 郡山市では、次のような緑化支援策を実施しています。このうち、あなたをご存知の支援策はありますか？（複数選択可）

（回答者：345人）

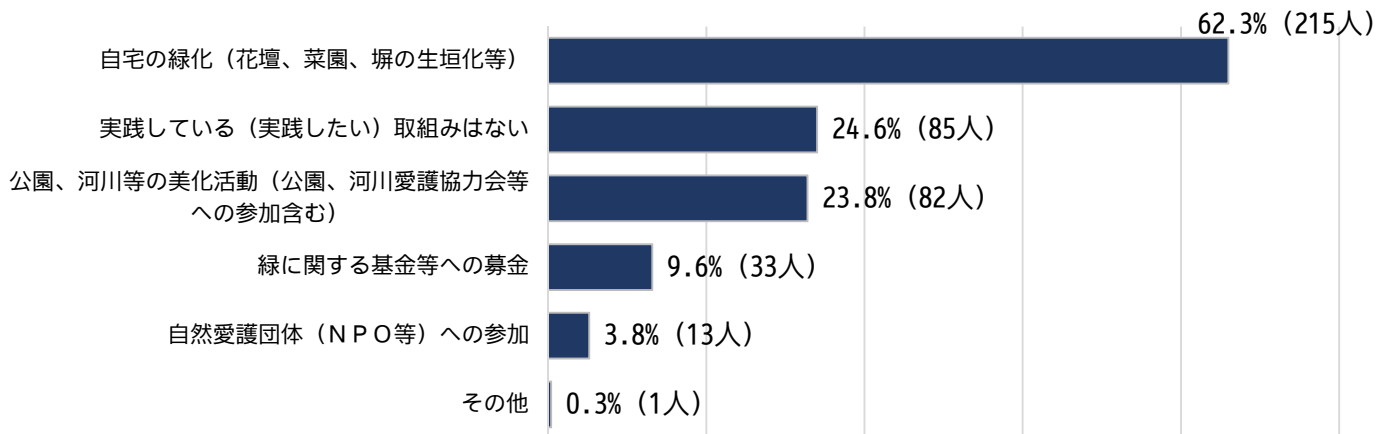


市が実施する緑化支援策の知名度について、「戸建住宅を新築又は購入した方への記念樹配布（緑あふれるまちづくり事業）」58.6%が最も多く、次いで「生垣設置への助成（緑あふれるまちづくり事業）」27.8%、「知っている取組みはない」25.2%、「緑化プランター等、緑化資材の助成制度（緑の街並みづくり事業）」16.5%となっており、取組みを知らない方も多く、更なる周知が必要と考えられる。



問22 現在あなたが実践している（または、今後実践したい）緑に関する取組みはありますか？  
（複数選択可）

（回答者：345人）



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・猪苗代湖の清掃ボランティア

実践している（または、今後実践したい）緑に関する取組みについて、「自宅の緑化（花壇、菜園、塀の生垣化等）」62.3%が最も多く、次いで「実践している（実践したい）取組みはない」24.6%、「公園、河川等の美化活動」23.8%、「緑に関する基金等への募金」9.6%となっている。美化活動などよりも、自宅の緑化への関心が高いことから、緑に関心を持ってもらうきっかけとして身近な緑に関する支援策の検討が必要であると考えられる。

また、問19では市民協働で実施したい取組みとして46.7%の方が「公園、街路樹等の適切な維持管理」を選択しているのに対し、「公園、河川等の美化活動」を実践している（実践したい）方は23.8%にとどまっていることから、市民が美化活動に参加しやすい仕組みづくりが必要である。

問23 緑の施策について、ご意見やアイデアがあれば、ご自由にお書きください。

(回答者：84人)

緑の維持管理について

【公園】

郡山市には公園や緑地が多く存在し整備されていて、ウォーキングやジョギングに最適なので、利活用や維持管理をしっかりして、今後も繋げていければと思います。(30代・女性)

ちびっこ広場の維持管理は町内会が行っているが、200世帯に4つのちびっこ広場があり、少子高齢化の影響で利用者が減少しているが除草作業が大きな負担となっている。(70代・男性)

公園の樹木も樹齢や樹高を考えて、ローテーションで植え替えを行ってください。開成山公園の桜も老木は更新して行ってください。(70代・男性)

【街路樹・道路等】

緑の木が多くなるのは歓迎しますが、高木は必要ないと思う。電線より低くし、簡単に手入れが出来る植栽が良いのでは無いか。また高木となった街路樹が交差点そばにあり、交通障害になっている箇所も市内各所に見受けられるようになった。災害が起きないうちに改善してほしい。(70代・男性)

害虫による被害が甚大になる前に予防を徹底的にして欲しい。水と緑の都市宣言に相応しい市民全体で取組んでいきたい。桜等は特に維持管理をしながら、毎年増やしていくべきだ。(70代・男性)

緑を増やす前に、手入れをして今あるものを美しく保った方が、景観も良くなり、交通の妨げにもならないと思います。(50代・女性)

幹線道路で街路樹剪定のクオリティに驚かされることがあり、もっと注目されても良いと思います。時期によって歩道にもかなり雑草が生い茂ったままの時がありますので、除草タイミングや回数は調整頂けたら、より景観が保たれるように感じています。(40代・男性)

緑の整備について

【公園】

公園をパーク(憩いの場)とプレイグラウンド(遊び場)に分けた方が良いと思います。分けないと、乳幼児保護者や高齢者が「公園は静かな場所」と考えてのんびり過ごす一方、活発な児童が「公園は思いっきり遊ぶ場所」と捉えてボール遊びをするでしょう。このように2つの価値観が存在すると、住民間での衝突を避けられません。緑化を推進する際は、公園の目的に合わせて植樹する必要があると思います。(40代・男性)

郡山市には素晴らしい公園がたくさんあるのに、公園の広さに対し、駐車場が全然足りずがっかりします。近年は車中泊ブームもあり、郊外の公園の一部にRVパークなどを併設してみたらいかがでしょうか？もっと市民が緑にふれ合えると思います。(40代・女性)

Park-PFIにより開成山公園にカフェなどが新設される計画を知った。周辺駐車場及び園内駐車台数のキャパを考えると不要と思う。(60代・女性)

街中の空き地を緑の公園として活用して欲しいです。そうすれば、空き地もなくなるし、街を歩いている時の休憩場所にもなります。管理は、地域の団体に委託するのが良いと思います。(60代・男性)

利用者の少ない公園をチェックして欲しい。市中から離れている公園に人がいるのを見かけたことがなく、車で通る人のトイレ専用のような公園がある。(70代・男性)

【街路樹・道路等】

街路樹を復活、新規植樹すれば、緑あふれる都市の印象がupすると思います。そして、その維持管理をしっかりと。駅前西口広場は多少緑を感じる空間になりましたが、東は、遠方の山の緑は見えるものの、殺風景です。道路側帯に街路樹が無理なら、自動車道と歩道の境界に低木や芝桜、スズラン、シラン、アヤメ等のあまり手がかからずきれいな緑地帯を作ってみたらどうでしょうか。(50代・女性)

仙台市の青葉通りのようなケヤキ並木のある街なか素敵です。東口再開発があれば、そんな街並みも良いなと思います。(40代・男性)

## 市民参加について

### 【ボランティア】

近所に公園が出来ましたが、雑草やごみの管理が課題かと思います。私もなるべくゴミ収集日に合わせてゴミ拾いをしていますが、個人では限界があります。ゴミ拾いのイベントや緑化イベントを小さなコミュニティで実施する施策が必要だと感じます。(40代・男性)

地域の公園は、地域のボランティアなどで整備できれば良いと思います。(40代・女性)

### 【イベント・コミュニティ】

気軽に参加出来るイベントがありましたら行きたいです。(40代・女性)

五百淵公園の自然を活かしながら、利用し易く整備した方がよいと思う。古く暗い印象がある。森林公園もアウトドアを活かして、利用者を増やすチャンスがあると思う。開成山公園のバラ園で、剪定術や植え方等青空教室を開いて欲しい。(50代・女性)

## 市の緑化支援制度について

### 【既存制度の周知】

現在実施している緑化支援策等も、こちらから情報を探しに行かないと見つけられないものが多いので、情報を皆に伝える機会を増やして、広く周知すると良い。(40代・女性)

自宅近くでできる施策があれば参加したいと思うので情報発信して欲しい。(60代・女性)

### 【新制度の要望】

緑化を推進する場合は、その維持管理も大切なので、その補助等もあれば、庭木を植樹したい人も増えると思う。庭に木が一本あれば緑のイメージはとても膨らむと感じる。(60代・女性)

郡山市の山の方に行くと、田んぼや畑など使わなくなった農地が見られます。町の人でも野菜を作りたい方もいるので、農地の貸し出しをして緑化対策をしてみてもどうでしょうか？(40代・女性)

地球温暖化対策として屋上緑化等を推奨してほしいです。(50代・男性)

最近の住宅の庭に切なさを感じている。土の部分がない。すべてコンクリート。草むしりが必要ないことや駐車スペース確保のためだということは理解するが、夏場、犬の散歩をしていると、木々に囲まれた家の隣を通る場合と、コンクリート地面の家の隣を通る場合と、断然違うのがわかる。木々のある庭には草むしりや剪定の助成や紹介があるといいと思う。市民が危機感を持つような働きかけや、それに対する提案提示ができるような仕組みをつくり、周知がマスト。よろしく願います！(30代・女性)

## 市の方針について

### 【市の方針】

緑を増やすのはいいのですが、その後の管理は誰がするのか？ 整備のためのお金も税金ならば、市民のことをよく考えてから決めて欲しいです。(40代・女性)

郡山市には郊外に豊かな自然がある。市街地や公園に樹木はあまり必要ない。枝の手入れや枯れ葉による排水溝の掃除等を考えると無駄な財政投資だと思う。(40代・女性)

仕事上、他の自治体にお住まいの方と交流しますが、郡山市は都市の中の緑空間が多く、関心の声がよく聞かれます。一市民としては、管理(除草・剪定)面を強化して頂き、十分な予算を確保して、都市景観の向上に尽力して頂きたいと思います。(40代・男性)

## 緑のあり方について

### 【緑のあり方】

手入れや雑草管理などの問題で自宅の庭をコンクリートにしてしまう方も増えていると聞きます。緑の大切さをどんどん広める必要性があると考えています。(50代・女性)

市街地に住む人と郊外や農村地帯に住む人の、緑に対する考え方が異なるので一概には言えない問題だと思う。(80代以上・男性)

その他

各家庭の敷地で行っている、または行いたいけど緑化方法が分からないが多い。やり方がバラバラなので、全国で成功している緑化方針や補助金支援について情報があると、街並みに少し緑が増えると思います。街の緑化に興味がある方は、少ないと思います。(40代・男性)

カラス対策との併用を検討して欲しい。(50代・男性)

緑を手入れする専門家を増やしたら良いと思う。高齢者も安心して緑を増やせる。(60代・女性)